

文化庁ユニバーサル公演事業 和太鼓公演『瑞宝太鼓』

6月12日(水)・13日(木)に、文化庁ユニバーサル公演事業の一環として、和太鼓ワークショップと鑑賞会を本校で開催しました。本取組には、「伝統音楽に親しみ、視覚・聴覚を刺激しながら豊かな想像力や表現力を育むこと」をねらいに、小学部児童や高等部生徒が参加しました。

公演いただいた「瑞宝太鼓」は、1987年に知的障がい者の余暇サークルとして発足し、2001年にはプロチーム「瑞宝太鼓」を結成され、長崎県雲仙市を拠点に全国各地、時には海外の舞台で演奏されています。

12日(水)のワークショップには、鑑賞会でのコラボ演奏に向けて本校「太鼓組」の高等部2・3年生が参加しました。一緒に演奏する曲目「ガンバランバ」は、九州地方の方言で「頑張らなきゃ」という意味だそうです。その言葉どおり、テンポのよいリズムと元気いっぱいの掛け声に、生徒たちは自然と笑顔になって太鼓をたたき、練習に汗を流しました。

13日(木)の鑑賞会では、締太鼓・長胴太鼓・大平太鼓・桶胴太鼓といった複数の太鼓による迫力の演奏と音量に圧倒されました。また、プロの圧巻のバチさばきは目が追い付かない程速く、その技術に児童、生徒たちも見入っていました。コラボ演奏では、前日の練習の成果を発揮し、「ガンバランバ」の思いがこもった素晴らしい演奏をすることができ、大きな拍手をもらいました。

鑑賞会の最後には、メンバーの方々と一緒に自由に太鼓を叩ける時間が設けられ、たくさんの児童、生徒が積極的に参加して太鼓を打ち鳴らし、伝統ある和太鼓などの楽器や音楽に親しむことができました。



校長先生の挨拶



迫力ある演奏



太鼓組のコラボ演奏



コラボ演奏の感想を発表



長胴太鼓の紹介



篠笛の紹介



テンテコテンテコと口唱歌



いろいろな太鼓に挑戦



こん棒のようなパチ



高等部生徒代表の挨拶



タッチしてお別れしました



遠くからバスで来校されました